

軍機秘

自昭和十九年十二月一日
至昭和十九年十二月三十一日

陣中日誌

獨立混成第十五聯隊第三機關銃中隊

陣中日誌、例式

第一 陣中日誌ハ左ノ諸部團隊ニ於テ作ルヘキモノトス。

大本營、各部（郵便部ヲ除ク）（高等司令部）（編制上各部ニ區分スルモノハ其各部ニ毎ニ但郵便部ヲ除ク）兵站監部ノ各部、兵站司令部、聯隊、大隊、獨立中隊、砲兵聯隊、段列、堡壘團、獨立、保壘、獨立砲臺、電信隊、衛生隊、病院、縱列、監視隊、兵馬會廠、豫備員、豫備廠、患者輸送部、馬廠。

留守司令部及補充諸部隊ニ在テハ右ノ區分ニ應ジ留守日誌ヲ作リ、首トシテ第三項乙ニ掲ケル項目ニ準ジ記載スヘシ。

第二 陣中日誌及留守日誌ハ諸隊團隊動員令受領日ヨリ記載スヘキモノトス。

特別部隊等ニ在テハ先ツ到著セシ將校又ハ同相當官ニカ記載ヲ始メ、後ニ之ヲ主任者ニ移スモノトス。

第三 之ヲ作ルノ目的ハ左ノ二項ニ在リ。

甲 各人若ハ諸部團隊ノ經歷等ハ遭遇シタル實況ヲ記載シ
一 三戰史ノ用ニ資シ一ニ各人ノ勤務ヲ他日銓衡スルノ參考ニ
供ス

乙 編制、教育、補充、給養、衛生、武器、彈藥、器具、材料、被服、
裝具等凡テ軍事ニ關スル事物經驗ヲ録シ將來改良材料ト爲ス

第四 甲ノ目的ヲ達センニ在リ諸件ニ注意シテ記載スヘシ

一 命令、訓令、通報 (總務部戰日誌ニ載セタルハ日誌附録ニ其ノ要領ヲ摘
載其詳細ハ該戰日誌ニルコトヲ附記スヘシ)

二 毎日ノ位置、道 (某地ヲ去テ某地ニ留ル等)

三 行軍、宿營、管關スル事項

四 戰鬥ノ景況 (戰鬥ノ顛末ヲ詳載スヘシ又ニ隣接部隊トノ關係及緊要
時機ニ於ケル部隊位置、略圖ハ殊ニ明瞭ナルヲ要ス)

五 戰鬥間ニ生シタル事件
以上ノ事ヲ記スルニテ時刻ヲ詳記スルコトヲモテ又以上ノ事ニ關シ
自己ノ部隊ノ影響セシ事項 (天候、地形、險易、道路、良否、人家、多少等
ノ類)ハ簡短ニ附記セラル可ラス

六 所屬セシ軍隊ノ區 (當大隊前長或ハ本隊先頭ニ在リ等)
七 人員ノ異動
轉任、死傷等將校ノ官氏名ヲ録シ士卒兵卒及馬匹ハ其數ヲ録ス

八 休戰中ノ宿營

九 野戰作業等施設
十 此他凡ソ其一日間ニ生セシ緊要事項

第五 乙ノ目的ヲ達センニ在リ諸件ニ注意シテ記載スヘシ
一 武器、彈藥、器具、材料、被服、裝具等ニ關スルコト

二 編制及諸規程ノ作戦上ニ及ボシタル影響者等

三 補充、給養及衛生上ニ關スルコト

四 教育及軍紀ニ關スルコト

五 非常ノ時機ニ際シテ急シタル非常ノ處置例ハ敵地ニ在テ任
民ニ多額ノ訓令課シタル等

第六 高等司令部諸部隊、諸官廳ヨリ到達セル命令、訓令、通報及之

ニ送呈セル報告、詳報其他死傷表、武器彈藥損耗表、或ハ前哨等ヨリ至レル報告等ハ凡テ其由、或ハ摘ミ記事、後ニ低書シテ参照ニ備フヘシ。但各原本ハ種類毎ニ一格シテ保存スヘシ。秘密ニ屬スル特別任務等ニシテ當時之ヲ日誌ニ掲載スル能ハサルモノト雖モ其妨ナキニ至テハ成ルヘク詳細ニ其顛末ヲ記載スルモノトス。

第七 凡シ此日誌ハ月日時(順序ヲ逐ヒ)ト地名トヲ明記セサル可ラス。而シテ諸部隊隊長(或ハ參謀長)之ヲ點檢シ毎日記載、結尾ニ捺印或ハ草押スヘシ。

第八 此日誌ハ諸部隊復員完結、日ヲ以テ終局ト爲シ直ニ一本ヲ騰寫シ順序ヲ經テ陸軍省ニ原本ハ其部隊ニ格納スヘシ。陸軍省ハ此日誌中ヨリ所要事項ヲ抄録シテ之ヲ保存シ他ハ皆參謀本部ニ送り、之ヲ陸軍文庫ニ格納スヘシ。

第九 此例式ハ必ス陣中日誌ノ卷首ニ貼付スヘシ。

第一機関銃中隊編成表

昭和一九年二月一日現在

中隊		隊長		梅木忠次	
第一小隊		隊長		野村一郎	
第二小隊		隊長		川合次二	
職階	姓名	職階	姓名	職階	姓名
中隊長	梅木忠次	小隊長	野村一郎	小隊長	川合次二
班長	吉川定信	班長	飯田正光	班長	荒木信一
班長	川嶋英三	班長	大井秀雄	班長	飛島正三
班長	高見宗一	班長	堀山外次	班長	玉川正久
班長	沖田甚作	班長	野村一郎	班長	藪下由太郎

計	隊分二隊								隊分一隊									
	8	7	6	5	4	3	2	1	長	傳	7	6	5	4	3	2	1	長
小隊長以下	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
一八名	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機
	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
	東	宮	織	米	浦	西	清	山	岩	澤	高	木	大	寺	前	柳	佐	
	宗	林	田	田	山	村	水	日	村	安	田	村	縣	崎	田	澤	渡	
	間	賢	興	正	健	梅	善	三	勇	嘉	進	深	原	興	幸	重	正	
		數	市	治	治	藏	一	郎		明	二	郎	作	一	干	成	義	
計	隊分四隊								隊分三隊									
小隊長以下	8	7	6	5	4	3	2	1 <td>長</td> <td>傳</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1 </td>	長	傳	8	7	6	5	4	3	2	1
二〇名	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機
	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
	森	川	大	大	西	保	岡	山	岩	竹	前	塚	高	廣	南	野	山	
	瀬	田	島	島	田	里	山	田	成	島	川	本	木	田	澤	口	本	
	太	俊	三	三	數	良	善	正	泉	久	久	久	久	久	久	久	久	
	四	男	九	九	雄	雄	一	一	次	次	次	次	次	次	次	次	次	
	郎	弘	郎	郎	一	一	一	一	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	

旅團主力移駐に伴う訓示

今般旅團主力移駐ノ命ニ接シ茲ニ國頭防衛ヲ第三步
 兵隊長ニ讓リ新ニ南方ニ要地ニ移駐セシム
 惟ニ國頭地方ニ過テ數日ニ專ラ旅團ノ全力ヲ以テ之ヲ
 準備シ各部隊克ク本職ノ方針ニ從ヒ多數將兵血汗
 ヲ傾倒シ營務ニ至リテ苦勵精日夜分分兵隊戰線ヲ築キ
 將ヲ教訓訓練ニ邁進シ今將ニ敵軍減シ準備感々トス秋
 今日ノ事ヤ此是ニ思フカラスヤ其ノ事ヤ其ノ事ヤ其ノ事ヤ
 更ニ思フカラスヤ其ノ事ヤ其ノ事ヤ其ノ事ヤ其ノ事ヤ
 然レ雖モ軍作戦構想ニ變化傳テ將ヲ衛護地直ニ兵隊
 更ニ軍大ニテ旅團主力ノ國頭防衛部隊ト共ニ軍大ニテ
 作戦ヲ担當シ我々國頭防衛務ニ益々力ヲ加ヘテ之ヲ
 遂行スルニ當リ國頭要地ニ早急ニ準備シテ南ニ對シテ
 關心ヲ極メテ更ニ新銳ノ氣ヲ振起シ以テ軍全般ノ作戦ニ必

陸軍一

勝三期不覺悟十九カ支... 殊國軍方皇國之興廢... 職指揮下並二區處下各部隊... 隊如或八隊... 職... 共二新部隊長二對... 昭和十九年十二月

獨立混成隊第四十四旅團長 鈴木...

十二月日晴
十一月日晴
十一月日晴

人員
將校以下五一名 (謝五、渡久保一)
借用之其返還
前日引續中...

勤務	遺書下士區隊長 桐山外次
	上等兵 全上等兵 廣田久次
	三用兵舎建築隊員 葛藤、益、代金、文、博
	三、三、三
	三、三、三
	三、三、三

人員

將校以下五一名(謝名五。渡久地一)

十月三日曇

前日二日... (大工五)

獨混五作命

獨混五作命第一五聯隊... 越月三日

陸軍五長 桐山 外次
山田 三太郎

人員

任陸軍軍曹
將校以下五一名(謝名五。渡久地一)

十月三日曇

陸軍軍曹

人員

陸軍軍曹... 將校以下五一名(謝名五。渡久地一)

十月三日曇

陸軍軍曹... 陸軍軍曹

受領

獨混五作命

獨混五作命... 陸軍軍曹

陸軍軍曹... 陸軍軍曹

受領

獨混五作命

獨混五作命... 陸軍軍曹

陸軍軍曹... 陸軍軍曹

陸軍軍曹... 陸軍軍曹

段連類
井作命
第四號

四各隊、獨混一五作命第八號別冊移駐計畫書之記述、其五、各隊
 八小隊長、指揮、約下、小隊、現、準備地、清、運、前、物、運、送、
 任、七、之、夕、山、後、前、物、上、共、ニ、ル、バ、速、カ、ニ、新、駐、地、ニ、進、及、之、
 五、本部及各隊、携、帶、糧、秣、輸、送、
 荷、馬、車、
 六、今、歸、仁、及、謝、施、各、并、備、隊、
 附、近、
 期、
 一、
 二、
 三、
 四、

下連命令
中隊命令

他貨物、輸、送、及、殘、務、整、理、
 各隊、將、夜、一、約、一、小、隊、
 機、關、銃、中、隊、
 五、借、用、物、品、送、納、防、謀、整、理、
 期、
 中、隊、命、令
 十、月、五、日

一	西澤尉	吉川定信	陸軍曹長	澤安嘉明
	全隊長	大井秀雄	全	清水善一
	全曹長	西村梅藏	全	竹島久良
	全	扇澤良三	全	岡山喜作
	全	藪下由太郎	全	川田俊男
	全	前田幸平	全	荒木信一

段連類

第二大隊命令

十月五日

井作命
第四一號

- 一 大隊、廿日、今歸仁、整備地、出發、行軍、新移駐地、轉進セントス。
- 二 各隊、廿日、五、三、迄、現、増行、シテ、警戒、設備、撤收、シテ、今歸仁、整備地、シ、集、合、隊、形、從、隊、後、隊、源、場、所、今歸仁、整備地、進、ス。
- 三 大門、中尉、八、大隊、主力、係、指揮、シ、行、軍、言、新、移、駐、地、前、進、ス。
- 四 間、片、中尉、官、崎、原、曹、長、本、輸、送、間、致、意、シ、但、思、出、發、時、期、三、間、シ、テ、六、別、命、ス。
- 五 本、輸、送、間、新、物、格、載、梅、ト、シ、尤、記、其、力、ヲ、免、出、シ、服、務、セ、シ、大隊、本、部、下、志、官、一、員、三、員、各、隊、兵、五、(附、三)
- 六 官、崎、原、曹、長、輸、送、間、致、意、シ、間、シ、處、置、ス。
- 七 庫、庫、輸、送、間、致、意、シ、收、容、處、置、シ、任、ス。

人員

- 荷馬車ニテ配屬ス
- 八、二十、日、備、置、官、地、名、護、村、計、田、ト、予、定、ス
- 九、出、發、日、二、日、ト、予、定、ス、此、別、命、ス
- 一〇、余、ハ、廿、日、今、歸、仁、候、アリ、廿、十、日、八、八、現、在、地、出、發、自、動、信、車、言、新、移、駐、地、ニ、先、行、ス、各、隊、長、間、中、尉、藤、平、原、曹、長、藤、澤、上、等、兵、ハ、隨、行、ス。
- 將、校、以、下、五、一、名、(謝、名、五、夜、久、地、)
- 一〇、七、〇、新、移、駐、地、移、動、ノ、序、ヲ、請、準、請、
- 一七、〇、〇、荷、馬、車、四、臺、ヲ、配、當、セ、シ、
- 中、隊、命、令、
- 廿、月、之、日、
- 陸、軍、大、尉、川、合、次、
- 右、ハ、新、移、駐、地、行、軍、間、指、揮、ニ、任、ス、
- 陸、軍、軍、曹、桐、山、外、次、

廿月廿日

下達命令
中隊命令

陸軍上等兵	飯田正光
本職明七日八日。再修駐地。先行及右隨行命令。	
陸軍上等兵	寺崎興一
全一等兵	野村一郎
全	宮林賢敷
全	野口修一
全	大木弘
右行軍間荷物輸送二倍又シ	
陸軍上等兵	山田三太郎
右行軍間給養掛命令	
陸軍上等兵	大島三九郎
右行軍間乘馬取扱命令	
遺着下士官	陸軍伍長 山本久次
全上等兵	廣田久次

行軍

人員

十二月七日
雨時々晴
下野連隊
第六號

川谷少尉指揮官(川谷少尉以下三名)今歸仁村
謝石少尉(國民學校)出發先許田二向二前進
三 美者 二 (大野隊長 玉川上等兵) 八馬車三同行
將校以下五一名(行軍三渡之地一殘留二後三先)

一 前日引續々許田二向二夜行軍
二 三。名護所二到着
三 第一大隊命令
四 第一大隊現地ニ於テ大休止セシメ
五 各隊ニ設置者、區署ニハ遠ニ從テ大休止スニ宿舎
六 以テ速ニ兵器被服手入ヲ行ヒ次期行軍準備子又ニ
七 警備員集會場ハ許田橋ヲ先頭下ニ連判懸集會ス
八 空籠ニ降テハ各隊休養地附近ニ築地物ヲ利用シ極力疎開

スニ
五 機関銃下小隊、對空射擊部隊在スニ、場所現也於テ
指示ス

六 本朝、日直將校、第五中隊、義井少尉、

七 結業良、團シテ、本中隊、食ヲ、現員、支給、了、後、飯、炊、食、

ヲ、員、施、ス、シ、尚、用、朝、食、分、本、夕、炊、食、長、七、等、ヲ、攝、行、ス、

八 本夜、出發、ス、シ、四、〇、一、隊、是、ス、北、北、別、命、ス、

九 出發、ス、際、シ、テ、許、田、橋、ヲ、先、頭、ト、シ、建、制、順、

一〇 車、朝、部隊、ハ、極、力、本、隊、ニ、續、行、ス、シ、

一一 一、七、〇、命、令、受、領、者、身、本、七、上、三、巻、如、ス、シ、

一二 四、〇、〇、許、田、一、到、著、大、休、止、

一三 五、〇、八、〇、本、歸、仁、出發、ス、シ、三、〇、渡、度、以、著、

隊、長、梅、木、中、尉、 桐、山、軍、曹、 飯、田、上、等、兵、

夜、行、軍、

第、一、大、隊、命、令、

第、二、大、隊、命、令、

第、三、大、隊、命、令、

第、四、大、隊、命、令、

第、五、大、隊、命、令、

第、六、大、隊、命、令、

第、七、大、隊、命、令、

第、八、大、隊、命、令、

第、九、大、隊、命、令、

第、十、大、隊、命、令、

第、十一、大、隊、命、令、

第、十二、大、隊、命、令、

第、十三、大、隊、命、令、

第、十四、大、隊、命、令、

第、十五、大、隊、命、令、

十二月八日

人員

夜行軍
第一號
第二號
第三號
第四號
第五號
第六號
第七號
第八號
第九號
第十號
第十一號
第十二號
第十三號
第十四號
第十五號

六 本朝、日直將校、第五中隊、義井少尉、
七 結業良、團シテ、本中隊、食ヲ、現員、支給、了、後、飯、炊、食、
ヲ、員、施、ス、シ、尚、用、朝、食、分、本、夕、炊、食、長、七、等、ヲ、攝、行、ス、
八 本夜、出發、ス、シ、四、〇、一、隊、是、ス、北、北、別、命、ス、
九 出發、ス、際、シ、テ、許、田、橋、ヲ、先、頭、ト、シ、建、制、順、
一〇 車、朝、部隊、ハ、極、力、本、隊、ニ、續、行、ス、シ、
一一 一、七、〇、命、令、受、領、者、身、本、七、上、三、巻、如、ス、シ、
一二 四、〇、〇、許、田、一、到、著、大、休、止、
一三 五、〇、八、〇、本、歸、仁、出發、ス、シ、三、〇、渡、度、以、著、
隊、長、梅、木、中、尉、 桐、山、軍、曹、 飯、田、上、等、兵、
夜、行、軍、
第、一、大、隊、命、令、
第、二、大、隊、命、令、
第、三、大、隊、命、令、
第、四、大、隊、命、令、
第、五、大、隊、命、令、
第、六、大、隊、命、令、
第、七、大、隊、命、令、
第、八、大、隊、命、令、
第、九、大、隊、命、令、
第、十、大、隊、命、令、
第、十一、大、隊、命、令、
第、十二、大、隊、命、令、
第、十三、大、隊、命、令、
第、十四、大、隊、命、令、
第、十五、大、隊、命、令、

十二月八日

茶

中絶
谷
段
井
第

一 大隊 現在地ニ移テ火止セシム
 二 各隊 間片中尉 直轄ニ移テ各隊ニ分遣ス
 三 本自 日朝兵討ハル言 日夕更時ハハハ言
 四 各隊 集會場ニ分會堂ヲ設テ 守備路ニ集會ス
 順序ニ連制順彦
 五 自營 隊長ニ降シテ 休養地附近ニ逃散物ヲ利用シテ
 隊開ス
 六 機用 銃下ニ隊ニ對テ射撃部隊トシテ 戦闘準備ヲナシ
 置ス
 七 各隊 速ニ兵ヲ被服 手ヲ完了シ 次期行軍準備
 ヲ見テ
 八 本自 日直將校ハ第六大隊 田村中尉
 九 本自 給養 晝食ヲ食テ 經理室ニ見立テ 文附ヲ受ケ
 飯食炊爨ニ依テ 明朝食ニ奉テ 準備ヲ行ス

段
井
第

一 車輛部隊ハ本刻迄ニ積載量 積付ヲ行 行軍ニ支障ナク
 二 本自 出發ハルニ 本自 別命ス
 第三大隊命令
 五月八日
 一 大隊 五月九日 谷茶 山田 長濱ヲ發シ 渡原
 二 向ニ前進セシム
 三 各隊 ハ 三 修練道場ヲ先頭トシ 連制順序行軍
 隊形ニ集合ス
 三 車輛部隊ハ極力本隊ニ連及シ 先ツ山田ニ向ニ前進ス
 山田ヨリ 兩右田中 伍長 匠署ヲ以テ 本隊ト別シ 喜名 座
 喜味ヲ 終テ 渡原次ニ至ル
 但機用銃ニ積載セシ
 細部ニ関シテ 田中 伍長ニ直接指示ス
 四 各隊ハ 出發ニ関シテ 防諜 火災 盜難 絶滅ヲ期ス
 五 間片中尉 官將 軍曹 銃ニ炊事 勤務者ニ 連テ 渡原

ニ至リ部隊渡慶史到着後、炊爨（際ニ支障ナシ様準備ス）

人員

二 川合少尉以下三三名 (内 野村少尉、西村少尉、渡慶史)

將校以下五〇名 (行軍三三、渡慶史一、野村一、西村一、先着五)

渡慶史
獨混五隊
命第五號

三 〇三三。南西諸島丙號戰備下令セリ

一 敵機動部隊未襲撃ノ算アリ

本自八日〇三三。南西諸島丙號戰備下令セリ

二 諸隊ハ對空警戒ヲ至嚴ナラシムルト共ニ人員資材ノ被害ヲ絶無ナラシム

三 移駐中ノ部隊ハ晝間ニ於テ對空警戒ニ徹底シ對空警戒ヲ至嚴ナラシム

四 殘留諸隊ハ對空警戒ヲ至嚴ナラシムト共ニ人員資材ノ被害ヲ周到ニ敵空爆撃對シ被害絶無ヲ期ス

十月九日
中野將中頭部
渡慶史

谷本出隊渡慶史ニ向テ夜行軍
三 川合少尉以下三三名 (内 野村少尉、西村少尉、渡慶史)

渡慶史が國民學校到着

第二大隊命令

一 大隊 本日以降中頭部座喜味附近ニ據リ宿営ス

二 各隊 火器設備者ヲ指示ニ基キ宿営ス

三 警備 警備中場ノ警備ヲ厳シクシテ

四 空襲 空襲時ハ速ニ敵機既備ニシテ

北地直隊命令

一 旅團 敵機北地直隊行場ニ對シテ警戒ス

二 旅團 敵機北地直隊行場ニ對シテ警戒ス

渡慶史
井作命
第四三號

渡慶史
井作命
第四三號

主力は上陸點より陣主力を南に誘致する如き行動欺騙を以て
 二大隊は北地區隊となりて主力を以て鹿島味北側高地を占領す
 尚一部を以て喜多東才高地を占領隊團を遣ふに海接點に
 十一部を以て山田我波岬に守備隊を遣取都屋楚邊
 渡具知に前進陣地を占領し海上警戒監視を以てル上其に努めて
 沿岸地帯に陽動欺騙を以てす

三第四中隊は第一線主力を以て△△高地南西側台地を占領す
 一部を以て都屋楚邊渡具知に前進陣地を占領海上監視
 警戒陽動欺騙を以てす(△△細部は現地を以て指示す)
 四第六中隊は第一線主力を以て△△高地北西側高地を占領す
 一部を以て我波岬に守備隊を遣取前進陣地を占領す
 海上警戒監視陽動欺騙を以てす(△△細部は現地を以て指示す)
 五機關銃中隊は主力を以て右第一線中隊陣地内に一部を以て左第一
 線中隊陣地内に二天の陣地を占領す(△△細部は現地を以て指示す)

六第一線中隊は現地を以て

七第一線 (喜多東才高地) 鹿島南側
 古集隊 (海六三三島)

井上隊命令 十月九日

渡領
 井上
 第九五號

一 九月五日直轄隊に服務す(△△)

十五日 川合中尉

中隊命令 十月九日

一 渡具知 陸軍伍長 吉田 久之

二 渡具知上等兵 陸軍上等兵 米田 政二

三 陸軍中隊 川 嶋 英三

准尉不在間代理命令

陸軍中隊 山田三太郎

兵員四員不在間代理命令

將校以下五名(渡具知三、渡留謙三、渡久地一)

人員

十月一日晴
渡渡次
日課

一。八。〇。〇。一。一。〇。〇。

宿營地附近、各個掩体壕構築作業

二。〇。八。〇。〇。〇。一。一。〇。〇。

中隊宿營陣地偵察、陣地既備

三。一。三。〇。〇。

大隊長の務巡視

四。一。三。〇。〇。

中隊長中隊全員三對三訓示

、風生、備備、日備

、軍紀風紀、厳正

、衛生三就

、宿營、衛生、公、序、進、心、地、下、起、屋、又、未、了

五。一。四。〇。〇。一。一。七。〇。〇。

午前引續、各個掩体壕構築作業

六。一。八。〇。〇。一。一。九。〇。〇。

中隊長中隊幹部三對三新任務三就、學科、一

井上隊長命令 十月十日

一、井上命第九五號日直將校在ノ通、變更又

十五日 川合少尉

中隊炊事用務兵 野口一等兵、高見一等兵

將校以下五名 (渡渡次三、残留者二、渡渡地一)

十月十日晴

渡渡次
日課

一。〇。八。〇。〇。一。一。三。〇。〇。

宿營地附近、各個掩体壕構築作業

二。一。三。〇。〇。一。一。七。〇。〇。

重機用銃搬送器具(創意工夫等)ニヨル基本教練

課目 果敢、部下、自信前進

人員

將校以下五名 (渡慶次三人、殘留謝名二人、渡久地一人)

一 休養

井上隊 命令 十月十二日

陸軍中尉 中野清市

左有事務連絡、為明十日ヨリ泊、予定ヲ以テ今歸仁村ニ出張ヲ命ズ

中隊 命令 十月十三日

陸軍一等兵 岩村 勇

在中野中尉出張隨行ヲ命ズ

將校以下五名 (渡慶次三人、謝名一人、渡久地一人)

一〇八〇四一七〇〇

若營地附近、各個掩体構築作業

十月十日
復慶次

人員

不遵命令
中隊命令

十月十日
井上隊
第九號

日課

一〇八〇四一七〇〇

入若場設置 (各中隊毎) 作業

三〇五〇

丙號機備解除

將校以下五名 (渡慶次三人、謝名一人、渡久地一人)

人員

十月十日
復慶次

一〇八〇四一七〇〇

若營地附近、各個掩体構築作業

二〇八〇四一七〇〇

木村代林 (兼備)

三〇五〇

殘波岬ニ於テ創意思案ニテ小隊教練 田合中尉

井上隊 命令 十月十四日

一 別紙ノ通り且直將校ニ服務ス

復慶次
第九號

下
中隊命令

十八日	川合中尉	手宮	川合少尉
十九日	中野中尉	三五日	中野中尉

一命 陸軍上等兵 高木唯志

免 陸軍一等兵 井田甚作

鍛工場勤務、免命又

七記(号)入浴、買施(又)

奇数日 第一小队及 指揮班、半数

偶数日 第二小队及 全

入浴當番、正午より服務、入浴小队員、巻込又下

入浴場、往復、燒付者、引率、以下確員、行つた

本部用務(機雷整理) 玉川上等兵、木村一等兵、

炊事用務(薪運搬) 鹿島一等兵

將校以下五〇名(渡度次三、謝名二、渡久地二)

勤務
人員

五月
風雨
渡度次

一〇八〇〇

環境整理

二一〇〇

隊團長閣下渡度次末着

三一三〇〇

各個塔体構築、構築作業(宿营地)

四〇〇〇

各分隊兵士工具備用

五二〇〇

中野中尉 岩村一等兵、今歸出張、解管

簡務室日直 玉川上等兵

將校以下五〇名(謝名二、渡久地二、渡度次二)

勤務
人員

五月
風雨
渡度次

一〇八〇〇

臺原
渡度次

各個掩体壕構築作業 (宿營地附近)

一、二、三、
吉川准尉 敷下等兵 解營 (謝右善曹者)

陣地構築作業 (米下子掛水)

一、
通番下士官 陸軍 山田三太郎
通番上等兵 陸軍上等兵 保里良雄

將校以下五名 (謝右九渡度地一渡度次四)

勤務
人員

三、八、〇、〇、一、七、〇、〇

陣地構築作業

二、〇、九、〇、〇

診斷 高見一等兵 練兵休

既着者

宮林一等兵

三月十日
臺原
渡度次

井作
第四五號

北地區隊命令

一、旅團指示ニヨリ引継地區内ニ存在セル構築資材ノ取外シヲ

禁止セシムル如ク嚴禁セラル

ニ地區隊ハ地區内ニ於テ取集資材一切取外シヲ嚴

格禁止ス他ニ使用シタル築城資材一切取外シヲ嚴

格禁止ス其ニ歩哨巡察ヲ派シ以テ該構築物檢査戒

嚴視ニ任セシメントス

三、各隊ハ隊カニ自己陣地内ニ存在セル該當構築物

ニ歩哨巡察ヲ派シ築城資材ノ取外シヲ禁止シ

以テ之カ檢査監視ニ萬全ヲ期ス(シ)

四、該當構築物ノ関シテハ現地ニ於テ指示ス

下原命令

中隊命令

陸軍軍曹

川嶋英三

十二月廿七日

渡度次

各洞掩体壕構築作業 (宿営地附近)

一、二、三、

二、一、三、

陣地構築作業 (米下子排米)

遺着下士官	陸軍中尉	山田三太郎
遺着上等兵	陸軍上等兵	保里良雄

將校以下五名 (謝名九渡地一渡度次四)

二、八、〇、〇、一、七、〇、〇

陣地構築作業

二、〇、九、〇、〇

診断 高見一等兵 練兵休

既着者 宮林一等兵

勤務 人員

井作 第四五號

北地區隊命令

一 旅團指示ニヨリ引継地區内ニ存在セシ構築物ニ於テ

ニ地區隊ハ地區内ニ於テ取込資材一切取外シテ嚴

格撤却シ他ニ使用シタル築城資材一切取外シテ嚴

密監視ニ任セシメトス

ニ各隊ハ速カニ自己陣地内ニ存在セシ構築物

ニ取之カ撤却監視ニ萬全ヲ期ス(シ)

中隊命令 川嶋英三

下隊命令

人員
 准尉代理 〇名
 將校以下五〇名 (謝名九、渡久地、渡慶次四)

人員
 一〇八〇、一七〇〇
 陣地構築作業
 二、診斷
 高見一等兵 (練養休)
 用務
 野口一等兵、木村一等兵 (本部官場)
 將校以下五〇名
 一〇八〇、一七〇〇
 陣地構築作業
 醫務官、倉田、玉川上等兵、保田上等兵 (糧秣庫)
 用務
 將校以下五〇名 (謝名九、渡久地、渡慶次四)

備	味	善	座	地	陣地	陣地	陣地
				區	地	地	地
備	味	善	座	野	野	野	野
備	味	善	座	交通壕	交通壕	交通壕	交通壕
備	味	善	座	掩蓋銃座	九個	七〇%	一個
備	味	善	座	標	一個	三〇%	一個
備	味	善	座	交通路	一三〇米	四〇%	一三〇米
備	味	善	座	戰車跡	三五米	三〇%	三五米
備	味	善	座	三角架	三架		三架
備	味	善	座	炊事場	一棟		一棟

陣地構築成並 進捗状況報告 現況 橋本隊

進捗状況

備

一個、三〇% 完成
 四、二個、三〇% 進捗
 飯沼、三〇% 増築、シヤ、食費
 炊事場、予定
 第三分隊前之増築

首節隊之、三〇% 補修、増築、シヤ、

部	科	種	種	種	種
陸軍	步兵	第一師團	第一師團	第一師團	第一師團
海軍	水雷	第一師團	第一師團	第一師團	第一師團
陸軍	砲兵	第一師團	第一師團	第一師團	第一師團
陸軍	騎兵	第一師團	第一師團	第一師團	第一師團
陸軍	工兵	第一師團	第一師團	第一師團	第一師團
陸軍	輜重	第一師團	第一師團	第一師團	第一師團
陸軍	衛生	第一師團	第一師團	第一師團	第一師團
陸軍	憲兵	第一師團	第一師團	第一師團	第一師團
陸軍	軍醫	第一師團	第一師團	第一師團	第一師團
陸軍	軍需	第一師團	第一師團	第一師團	第一師團
陸軍	軍法	第一師團	第一師團	第一師團	第一師團
陸軍	軍紀	第一師團	第一師團	第一師團	第一師團
陸軍	軍禮	第一師團	第一師團	第一師團	第一師團
陸軍	軍容	第一師團	第一師團	第一師團	第一師團
陸軍	軍風	第一師團	第一師團	第一師團	第一師團

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

十月十日
陸軍省
勤務人員

一、八〇〇—一七〇〇
陸軍省 陸軍部
勤務人員
將校以下五。(謝名九渡久地渡慶次四。)

十月十日
陸軍省
渡慶次

一、八〇〇—一七〇〇
陸軍省 陸軍部
渡慶次

勤務人員

一、八〇〇—一七〇〇
陸軍省 陸軍部
勤務人員
將校以下五。名(謝名九渡久地渡慶次四。)

十月十日

一、八〇〇—一七〇〇

渡慮次
勤務
人員

七月三日
渡慮次

陣地構築作業

用務 (糧秣) 陸軍一等兵 東原 剛

將校以下五名 (謝名九渡慮次一渡慮次四)

一〇八〇〇一七〇〇

陣地構築作業

二二三三〇

丙號戰備下令

三 官者受診 陸軍兵長 村山 健 老 (糧秣)

勤務

用務 倉場 (天原) 陸軍兵長 東原 剛

用務 全 野口 修 一

用務 糧 秣 全 野口 修 一

用務 全 陸軍兵長 野口 修 一

用務 全 陸軍兵長 野口 修 一

人員

七月三日
渡慮次

陣地構築作業

將校以下五名 (謝名九渡慮次一渡慮次四)

一〇八〇〇一六〇〇

陣地構築作業

二一七〇〇

四種混合予新接糧

三一四五〇

丙號戰備解除

四一三〇〇

彈藥今歸付了渡慮次二連撤受領云

食糧 陸軍一等兵 十二箱

食糧 陸軍一等兵 四箱

食糧 陸軍一等兵 三箱

五三〇〇

彈藥運搬 (受領之及中隊之集積也)

重機銃 甲彈藥箱 十六箱

全 重箱 八箱

手榴彈 三箱

右彈藥一座喜味指揮陣地内之集積也

但、中隊殘置甲彈四箱 (集積員取之合、六)

六一五〇〇

薪運搬 (中隊用)

井上隊命令 十月二十四日

陸軍大尉 橋本安弘

右大隊長代理ヲ命ス

九〇〇 對空監視 東一隊友

庶當番 前川稔友

受領
井日命
第一之命
勤務

人員

將校以下五〇名 (謝名九、渡久地、渡慶次四)

一 休養 (四種混合予所將校三〇名)

井上隊 命令 十月二十五日

一 九記、通、日道將校之服務ス (三)

其月三十一日 吉川准尉

十月三十一日 川合中尉

一月一日 中野中尉

二 彈藥運搬、為今歸仁リ、初陣上等兵來隊ス

重機銃彈藥 (重箱) 五箱

手榴彈 五箱

其、他 四箱

將校以下五〇名 (謝名九、初陣、渡久地、渡慶次四)

吉野
渡慶次
井日命
第一之命
受領

人員

吉野支隊
渡慶次
井日命
第一心算
受領

陣地構築作業

井上隊命令 十月二十六日

一 明二十六日 聯隊長巡視 爲三來隊セリ 依而

別紙 通 心得

部隊長巡視計畫

一 内務巡視 二〇〇一—二〇〇二

第二機関銃隊 各隊十五分間

三 陣地視察 一五〇一—一五〇二

第四機関銃隊 座喜味陣地 五分間

二一七〇〇

陸軍步兵 廣瀬一砲 (伊豆味宇土部隊分遣ヨリ歸隊)

勤務

隨務室日直 玉川上等兵

檢査人員

特取以下五一名 (謝名九港久地一渡慶次也) (謝名九港久地一渡慶次也)

十月二十七日

渡慶次

二一七〇〇

部隊長内務巡視

井上隊命令 十月二十七日

陸軍步兵 井日 甚作

在陣地返納 爲明子日即日歸隊 予定ヨリ以下班第

七人三六部隊ニ出下ヨリ命令

將次以下五一名 (謝名九港久地一渡慶次也)

人員

十月二十七日

渡慶次

一〇四〇

原身受領ノ事 計日一算 兵隊 渡慶次

陸地構築作業

三〇八〇

連夜三隊未隊中、朝澤上等及謝和六隊也

四一〇〇

予夜接獲(北洲第一回)

五一六〇

謝和六、新物四欄到着

井上隊命令 廿月十八日

陸軍少尉

右鑿化地會報出席、為本十八日即日歸隊ヲ

以予旅團司令部ニ出張ヲ命ズ

陸軍上等兵

西日敷雄

寺崎與一

陸軍一等兵

野口修一

宮林層、數

右軍馬受領、為明十九日即日歸隊ヲ以テ

球第七八三六部隊ニ出張ヲ命ズ

外田一等兵、軍馬受領、歸隊

將校以下五一名(謝和九、護久地、渡鹿次四)

陸地構築作業

二〇四〇

軍馬受領、為西田上等兵以下四名出張

三一七〇

陸軍少尉(三回) 寺崎與一

乘人員

青三自雲一
護鹿次

二〇四〇

軍馬受領、為西田上等兵以下四名出張

三一七〇

陸軍少尉(三回) 寺崎與一

勤務人員

醫務室日具 陸軍上等兵 玉川正八
將校以下五一名(謝本丸渡久知一渡慶次四)

青手量

一〇八〇〇一七〇
障地構築作業

二一〇三〇

陸軍上等兵 全澤武夫(退院原隊復歸)

被服

三代用機(護護底) 侯用島下支給光

二十七足

勤務

公用務(本部解携) 山田算兵衛一等兵

瀧邊下士區	陸軍軍曹	桐山外次
瀧邊上等兵	陸軍上等兵	西田數雄
既營番	陸軍一等兵	大木 弘
合	合	東 宗 間

檢査

將校以下五二名(謝本丸渡久知一渡慶次四)

青手量

中隊内務検査

受領

中隊命令

十月三日

第一三號

陸軍大尉

瀧邊 守 次

陸軍隊長代理 池田 一

井 命

井上隊命令

十月三十一日

一、謝本丸渡久知一渡慶次四(連)

一、瀧邊 守 次

瀧邊 守 次

一、瀧邊 守 次

一、敬 禮

二管外遊紀

御領
御
御
御
御

一月十日
一月十日
一月十日
一月十日
一月十日

冬月及二月... 終了又...

隊形、現地... 終了又...

服宗、服宗... 終了又...

又、今更... 終了又...

三、別給... 終了又...

三、家... 終了又...

十月十日... 終了又...

一月十日... 終了又...

一月十日... 終了又...

二日	火	土川准尉	吉木
一日	水		吉木
四日	木		吉木
五日	金		吉木
六日	土		吉木
七日	日	川合上	吉木
八日	月	中野中尉	吉木
九日	火	吉川准尉	吉木
十日	水		吉木

御領
御
御
御
御

第七百四十八號月例(十二月分)平治管居住(下)官區兵隊員調査表

考	備	分		見役兵	補充兵	予備役兵	計	
		正	下官					
	一 總人員五十三名(內將校三名、準士官一名、合)	六	二	二	一九	五	四	六
	一 事故者 入院 一 二 三	六	二	二	一九	五	四	六
	分遣 二名 三	六	二	二	一九	五	四	六
	殘留 九名 下官 一 二	六	二	二	一九	五	四	六
	一 總人員五十三名(內將校三名、準士官一名、合)	六	二	二	一九	五	四	六
	一 事故者 入院 一 二 三	六	二	二	一九	五	四	六
	分遣 二名 三	六	二	二	一九	五	四	六
	殘留 九名 下官 一 二	六	二	二	一九	五	四	六